

那覇空港周辺測定結果

1 概要

那覇空港周辺における各測定局の配置状況を図N 1に、測定結果の概要を表N 1に示す。

各測定局における環境基準の類型指定状況は、4測定局中、類型Ⅰが3測定局、類型Ⅱが1測定局となっている。

2 測定結果

(1) WECPNLについて

各測定局の年平均WECPNLを表N 1及び図N 2に示す。

WECPNLについては、喜屋武局を除く3測定局で前年度より減少しているが、与根局73.9W及び具志局71.3Wにおいては環境基準値を超過している。

なお、環境基準値を超過している測定局数及び測定地点は前年度と同じであった。

(2) 日平均騒音発生回数について

各測定地点の日平均騒音発生回数を表N 1及び図N 3に示す。

日平均騒音発生回数は、前年度と比較すると、具志局で減少(-18.2)し、与根局で増加(+6.1)した。

(3) 月別WECPNLと日平均騒音発生回数について

月別WECPNLと日平均騒音発生回数を測定局別に図N 4に示す。

具志局と与根局においては、年間を通して、ほとんど毎月環境基準値を超過している。

月別日平均騒音発生回数も具志局と与根局が多く、発生回数が最も多い月は、平成15年5月における与根局の189.5回/日であった。

(4) 月別日平均ピークレベルと最大ピークレベルについて

月別日平均ピークレベル(dB)と最大ピークレベル(dB)の発生状況を図N 5に示す。

月別日平均ピークレベルは、すべての測定局において、約75から80dBの間の値で推移している。

最大ピークレベルは、与根局においては毎月90dB以上を記録しており、年間最大ピークレベルは、平成15年4月における与根局の100.8dBである。

(5) 曜日別の騒音発生状況について

曜日別日平均騒音発生回数を表N 2 及び図N 6 に示す。

全ての測定局において、土曜日と日曜日の発生回数は少ない傾向を示すが、嘉手納・普天間飛行場ほど大きな差異は見られない。

(6) 時間帯別の騒音発生状況について

時間帯別の月平均騒音発生回数を表N 3 に示す。

全ての測定局で7時～22時の時間帯に騒音の発生が集中しているが、深夜22時～早朝7時の時間帯においても騒音の発生が観測されている。

(7) 各測定局における環境基準超過日数の割合について

測定日数に対し環境基準値を超過している日数を表N 4 及び図N 7 に示す。

環境基準値超過率は、与根局(66.1%)と具志局(44.6%)で高くなっており、最も高い与根局においては年間を通して240日が環境基準値を超過している。

(8) WECPNLと日平均騒音発生回数の年度推移について

各測定局のWECPNL及び平均騒音発生回数(回/日)の平成9年度からの年推移を図N 8 に示す。

WECPNLは、平成9年度から各測定局ともほぼ横ばいで推移している。

騒音発生回数は、那覇浄化センター局においては、平成13年度まで減少ないし横ばいで推移していたが、平成14年度以降は増加傾向にある。具志局及び与根局においては、平成12年度以降、概ね増加傾向にある。喜屋武局は概ね横ばいで推移している。

3 まとめ

- (1) WECPNLが環境基準値を超過している測定局の割合は50%(4局中2局)であり、前年度と同様であった。
- (2) 日平均騒音発生回数は、前年度とほぼ同様であった。
- (3) 那覇空港周辺における平成15年度航空機騒音測定結果については、WECPNLの値が3測定局で前年度より減少しているものの、与根局と具志局においては、依然として環境基準値を超過していることから、那覇空港から発生する航空機騒音は周辺地域住民の生活環境に対し影響を与えている。